



さくら市立氏家小学校 学校だより

12月号

氏小だより



大志ちゃん

令和6年12月18日発行

発行者 氏家小学校長

教育目標 よく考える子 なかよくする子 体をきたえる子 **すべての子どもが輝く学校**

★毎日の子どもたちの様子を氏小のホームページでご覧ください！QRコードは裏面に掲載しています★

2024年もあとわずか～子どもの頃の年末年始は大切な思い出～

12月に入ると日々の流れはととも早く、今年も残すところ2週間ほどになりました。街の慌ただしさと呼応するように学校の中もなんとなく忙しい雰囲気です。この師走の学校の雰囲気もなかなかよいもので、子どもたちにも職員にも、気ぜわしさと同時に1年の節目を迎えられる安堵感が感じられます。保護者の皆様にも今年1年、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、児童は無事に年末を迎えることができました。本当にありがとうございました。

年末年始は、家族のつながりを感じられる様々な行事やイベントが各ご家庭で計画されていることと思います。人と人とのつながりの中で育っていく感情や、忘れられない思い出は、生涯にわたって温かい記憶としてわたしたちを支えてくれていると感じます。情報化の進んだネット社会になっても、家族や親戚の人と直接会える年末年始が、子どもたちにとって大切な思い出となるよう願っています。

★減災運動会 11月27日★

災害への備えとして、学校では主に「自分の命は自分で守る（自助）」と指導しています。今回は、さくら市社会福祉協議会の主催で、東北福祉大学のご協力を得て、災害時に互いに助け合う（互助）ことで被害を少なくしていこうという「減災」に視点をあてた「減災運動会」を実施しました。実際に体を動かしたり、カルタやクイズで災害時の行動を学んだりしながら、楽しく減災を学ぶ学習です。

児童は、災害時に有効な体操や、車椅子の補助、火災を消火するバケツリレーなど、様々な体験をしながら互いに助け合う必要を学びました。大学生の的確なアドバイスやレクチャーによって、「減災」につながる行動について考えるよいきっかけとなりました。



★幼保小交流 11月28日・29日★

市内の保育園や幼稚園の年長児が本校の1年生と交流を行いました。これは、幼児期から学齢期への橋渡しの一環です。あと3か月で入学する小学校の施設や生活を垣間見ることによって、学校生活への不安を減らして、期待を高くしてくれることを願っています。本校の1年生児童にとっても、案内役をしっかりと務める機会は、1年生を迎えて先輩になることへの自覚を高める学習となっています。お迎えのことばや、校舎・校庭の説明を練習し、張り切って案内する姿は、とてもたのもしく見えました。



★さくら市駅伝大会 12月4日 ~仲間と一緒にたすきをつなぐ~★

市内6つの小学校が参加して、さくらスタジアムで第8回さくら市小学校駅伝競走大会が行われました。氏小からは、5年生4チーム、6年生4チームの合計8チームが参加し、他校のチームと8区間で速さを競い合いました。選手の児童は、友達から受け取ったたすきを一生懸命な走りで次の友達に渡すことができ、すべてのチームが見事完走を果たしました。5年生の優勝は押上小学校、6年生の優勝は南小学校でした。

また、エンジョイランニングに参加した児童は、自己新記録を目標に全力の走りを見せてくれました。その他、大会を支える補助児童も自主的に自分の仕事に関わり、友達への温かい言葉かけをしていました。子どもたちの活躍を見て、そのがんばる姿に胸が熱くなりました。児童のチャレンジを讃えます！



★人権集会 12月10日★

オンラインで人権集会を実施しました。人権週間に各学級で話し合って作った人権標語を代表の児童が発表しました。学級で大切にしたい「感謝」「思いやり」「助け合い」「個性の尊重」「団結」などの思いが、児童のこぼれで表現された、すてきな標語ばかりです。相手を常に思いやって行動することは難しいものです。だからこそ、自分を見つめ、みんなで考え、助け合って、よりよい判断や行動がとれるように「人権」について考え続ける必要があります。標語は「絵に描いた餅」でなく実践につなげるきっかけにしてほしいと思います。



★感謝の会 12月11日★

日頃から児童の安全で楽しく充実した学校生活を支えるために、尽力してくださっているみなさんの代表の方をお招きして、感謝の会を行いました。子どもたちからは、手紙やカレンダー、歌など、ささやかながら心をこめてお礼をお伝えしました。参加してくださった方からの、「これからも元気で生活してください」「みなさんから元気もらっています」「大変感激しました」などのお言葉をいただき、児童は喜びとともに感謝の気持ちを新たにしました。今後とも氏家小の児童をよろしくお願いします。



の「冬」という季節に思いを馳せる朝です。



枕草子に「冬はつとめて」というフレーズがあります。「冬は早朝がよい」という意味ですが、若い頃は感性を理解できませんでした。最近はその感覚がよつとこころときています。身を切るようなキリッとした寒さが、身体の五感に働きかけて、とても気持ちよく感じます。少なくとも清少納言とは共感し合えると思います。(笑)

いよいよ冬将軍がやって来ましたが、朝の寒さにも負けずに、氏小の児童は登校班で歩いて登校しています。冬の太陽は高度が低く、横からまぶしく差すので、黙々と列をなして歩いてくる子どもたちは、逆光の中からおぼろげに列から機関車のように、かわるがわる白い蒸気のように、息が立ち上り、その寒さが、一層視覚的に見て取れる光景です。温暖化で季節がぼやけてきた日本で、何百年も昔の「冬」という季節に思いを馳せる朝です。

校長室の窓から

早朝の まぶしい逆光 背にあげて

吐く息白く 学童の列

児童の日々の活動をぜひご覧ください。

下のQRコードから氏小のホームページにアクセスできます。

